

## 科目区分：外国語科目(中国語)

授業科目名	中国語					学期	曜日	校時
英語名	Chinese							
担当 教官名	葛城 明子	単位数	1 単位	必修 選択	必修	後期	火曜日 火曜日 木曜日	1 校 時 2 校 時 1 校 時
授 業 の ね ら い ・ 内 容 ・ 方 法								
<p>私たちが一般に「中国語」と呼んでいるのは、中国で全国的に通用する共通語のことである。中国は国土が広く、日本の約26倍もあり、方言が数多くある（一般に七大方言という）。各方言間は発音が大きく異なり、互に通じない。そこで全国共通の言語が必要なのである。共通語は“普通话”といい、北方方言を基盤とし、北京語の発音を標準音としている。</p> <p>「中国語」では「中国語」に続き、発音と基本文法を中心に学ぶ。授業の進め方も「中国語」と同様、各課ともまず新しい学習内容を説明した後、「トレーニング」と「ヒアリング」は宿題とし、次の時間に答え合わせや補足説明をしていく。履修生は授業時は大きい声で発音し、積極的に取り組むこと。また各自付録のCDを使って、同じ文を繰り返し読む練習を通して、中国語のリズムをつかんでほしい。</p>								
テ キ ス ト 、 教 材 等								
<p>テキスト：塚本慶一監修・劉穎著『《新版》1年生のコミュニケーション中国語』（白水社） 辞書：『プログレッシブ中国語辞典』（小学館）</p>								
対象学生	成績評価の方法					教官研究室		
火-1:Lc・d 火-2:Eー 木-1:T四	平常の学習状況（出席状況、発音、宿題など）と定期試験の成績により、総合的に評価する。							
授 業 計 画								
第1回：発音の復習1 第5課（場所指示代名詞 動詞“在”）								
第2回：発音の復習2 第5課（助動詞“要・想” 方位詞） トレーニング5								
第3回：ヒアリング5								
第4回：第6課（動詞“有” “什么”+名詞 助数詞）								
第5回：トレーニング6 ヒアリング6								
第6回：第7課（時刻の言い方 時を表す語 時間の長さを表す語 時間詞）								
第7回：トレーニング7								
第8回：ヒアリング7 第8課（完了を表す“了”）								
第9回：第8課（選択疑問文） トレーニング8								
第10回：ヒアリング8 第9課（前置詞“从・到”）								
第11回：第9課（二つの目的語をもつ動詞“给”） トレーニング9								
第12回：ヒアリング9								
第13回：第10課（助動詞“可以・能・会” 前置詞“在” 動詞の重ね用法）								
第14回：トレーニング10 ヒアリング10								

\* 質問受付時間：火曜日 12:00 ~ 13:00 非常勤講師控室

